

国立北部周辺地区（その3）大規模雨水処理施設整備事業

（様式1）

項 目	内 容 ・ 施 策 等
選定理由	国立北部1・2・2・2-11処理分区、国立南部9処理分区の国立北部周辺地区（その3）は、古くから下水道整備を進めてきた合流地区であるため、多くの下水道施設の老朽化が進行している。これらの下水道施設について適切な機能確保を図り、浸水被害を防止するため、集中的な雨水処理施設の改築を実施する必要がある。
整備目標	① 本計画における対象降雨 ・本計画における対象降雨：50mm/hr ・目標とする理由：国上市公共下水道は多摩川流域下水道北多摩二号処理区のため、流域下水道の計画降雨に合わせている。 ②目標設定 下水道管の老朽化に伴う被害を未然に防止し、下水道管の流下機能を低下させることなく安定した下水道サービスを提供する。 i) 生命の保護の観点：当該排水区に存在する高齢者・障害者等要配慮者関連施設の床上浸水を防止する。 ii) 都市機能の確保の観点：機能保全水深を20cmとする。 iii) 個人財産の保護の観点：家屋の床上浸水を防止する。 iv) その他：特になし ③ハード対策、ソフト対策及び自助の役割分担について i) ハード対策 老朽化した下水道施設の改築を実施。 ii) ソフト対策及び自助 民間開発や住宅等の新築、建て替え及び公共施設整備の際、敷地内等に雨水貯留浸透施設の設置を促進。また、既存住宅への雨水浸透施設の設置助成事業を促進。

項 目	内 容 ・ 施 策 等			
内水ハザードマップ策定状況	・ 有 （令和3年8月策定済み）			
主な事業内容	公助	ハード対策	下水道管理者	・ 管渠施設の改築 管更生 L=41.8kmのうち緊急度が高いものが対象
		ソフト対策	下水道管理者	・ 降雨情報の収集 ・ 既存住宅への雨水浸透施設の設置助成事業を促進
	自助	ソフト対策		・ 民間開発や住宅等の新築、建て替えの際に、住宅内等に雨水貯留浸透施設の設置を促進

年度計画（百万円）

名称	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	計
合流管渠	48	67	51		257	257	257	257			1194

項 目	内 容 ・ 施 策 等
整備効果	・ 標準耐用年数 50 年を超過していく公共下水道施設について、雨水排水機能を適切に確保する（50mm/hr 5 年確率）。

国立北部周辺地区(その3)大規模雨水処理施設整備事業(参考図面)

